

# 新着図書から佐賀に関する本のご紹介

(平成30年5月29日掲載)

貸出と予約の開始は5月29日(火曜日)、インターネット予約の開始は6月5日(火曜日)です。

『明治維新』
遠山 茂樹／著
岩波書店
明治維新を、幕府、朝廷、各藩の武士たちや民衆の動き、さらに対外的要因なども含めトータルに描いた、戦後歴史学の記念碑的著作。維新の始発を天保の改革、その終わりを西南戦争と捉え、絶対主義確立へと至る過程を論じる。 県関係では、副島種臣や江藤新平などが紹介されている。
請求番号：K210.61/To,79

『眠れなくなるほどおもしろい日本史の「その後」』
歴史雑学研究所／編
三オブックス
大正時代に徳川政権が復活しかけていた？坂本龍馬の暗殺後、海援隊はどうなった…？史実には「まさか」の続きがある！教科書では教えてくれない日本史の「続き」と本当のラストを紹介する。 県関係では、大隈重信や江藤新平の紹介がされている。
請求番号：210.04/N,64

『権力に対峙した男 新・西郷隆盛研究 上巻』
米村 秀司／著
ラグーナ出版
西郷隆盛を描いた明治から大正にかけての多くの書籍には、知られていない史実や証言が多く残されていた。板垣退助や祇園の芸妓君尾、従僕の永田熊吉らが語る証言から西郷の実像を探る。 県関係では、大隈重信や江藤新平らの紹介がされている。
請求番号：289.1/Sa,18/1

『権力に対峙した男 新・西郷隆盛研究 下巻』
米村 秀司／著
ラグーナ出版
仲睦まじい同士として語られる西郷と大久保の真の関係とは？西郷と月照の入水自殺の真相は？西郷が自刃したというのは本当か？多くの証言から、西郷隆盛の実像に迫る。 県関係では、大隈重信や江藤新平らの紹介がされている。
請求番号：289.1/Sa,18/2

『政府に尋問の筋これあり』
鈴木 荘一／著
毎日ワンス
大久保、海舟、長州に騙された男の、汚れた明治維新への怒り! 「明治維新は世界で第4番目に生じた市民革命」と語る著者が、史上最大カリスマ・西郷隆盛の実像と虚像を解き明かす。 県関係では、江藤新平の紹介がされている。
請求番号 : 210.58/Su,96

『<宇和島伊達家叢書 5>伊達宗城公御日記』
伊達 宗城／[著] 宇和島伊達文化保存会／監修 近藤 俊文／編纂 水野 浩一／編纂
創泉堂出版
伊達宗城公の直筆「御日記 明治元辰四月末より六月迄」を翻刻し、現代語訳と注、解説を付す。英公使パークスとの会話、仙台藩が朝敵とされたことなどについて記述する。 県関係では、大隈重信や大木喬任らの紹介がされている。
請求番号 : 210.58/D,44

『幕末と帆船 ジョン万次郎が歩んだ道』
草柳 俊二／著
高知社会基盤システム
捕鯨船の乗組員として3大洋を航海し、その体験を通して世界の情勢を見聞きしたジョン万次郎。彼という「人」の足跡を示した資料と西洋帆船という「物」を組み合わせ、幕末の実態を浮かび上がらせることを試みる。 県関係では、三重津海軍所や鍋島直正の紹介がされている。
請求番号 : 210.58/Ku,84

『常野記』
大金 義昭／著
随想舎
明治150年を機に「下野・常陸」の幕末・維新を探訪! 幕末・維新の激動期に、北関東の辺地に生きた先人から、困難なこの時代を生き延びる力を学び取り、地域の底力を探り当てる。 県関係では、江藤新平の紹介がされている。
請求番号 : 213.2/O,21

『ビジネス大変身!』
藤吉 雅春／著
文藝春秋
1998年を境に始まった低成長時代。生き延びようともがき、変身を遂げた企業は何をしたのか。慣れ親しんだ「価値観」を変える決断をしたキーマンたちと、ポスト資

本主義社会のビジネスモデルをルポする。  
著者は佐賀県生まれ。

請求番号：335.2/F,68

[→バックナンバーはこちら](#)

[→インターネット予約・貸出についてはこちら](#)

---

## 郷土資料室の新作資料一覧

[→詳細はこちら](#)

郷土資料室の本は貸出を行っておりません。  
郷土資料室での閲覧をお願いします。

---

[資料紹介へ戻る](#)

[佐賀県立図書館のトップページへ](#)